

衆議院議員
神奈川
第2区
(西区・南区・港南区)

す が よし ひ で 義 偉

自由民主 党 発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3381)6211(代表)
自由民主党ホームページ
総務口座 東京00180-1-19518
http://jimin.or.jp/

2区支部 南区宮元町 2-41-1
tel.045-741-6300

生活防衛のための緊急対策

○雇用創出、再就職を支援

失業者の第一の不安である住まいの確保を雇用促進住宅で受け入れ、入居費用手当などで支援。解雇された非正規労働者の再就職支援とともに、企業・地方自治体には雇用創出・維持のために助成へ

○中小企業の資金繰り・承継支援

40兆円規模の保証・融資枠を確保。金融機関の貸し渋り防止へ。また、会社の後継者への相続税を80%猶予会社を存続し、従業員の生活や地域経済を支援へ

○出産費用不要。妊婦検診無料

分娩費の従来の本人立替払いが不要。検診は14回すべてが無料。だれもが安心して出産できる環境づくりへ

○介護職員の待遇改善、10万人増員

介護施設で働く職員の賃金を2万円アップで人材確保。保険料の上昇は抑制へ

○高速道路の休日料金値下げ

アクアライン1,000円、首都高(神奈川)400円、横横道路は半額程度、地方の高速道路は1,000円乗り放題へ(ETC利用)



サンデープロジェクト：田原総一朗氏と

○自動車重量税や所得税を軽減・免除へ

自動車産業の下振れを防ぎ、雇用を確保するため、購入意欲を喚起する減税措置。ハイブリッド車など環境にやさしい車は特に優遇し、環境技術の普及・促進へ

○住宅ローン減税を最大規模に

過去最高の最大600万円程度を控除。中低所得者の方々にも配慮し、住民税も減税へ

高齢化・国際化・
そして、少子
でおります。
に全力で取り組ん
景気・雇用対策
の安全・安心の
生活を守るため
を喚起し、国民
限に抑え、内需
その影響を最小
打撃を与えております。
今、百年に一度と言わ
れる世界の金融危機、同時
不況は、日本の経済を支え
てきた自動車、家電製品
などの輸出産業に大きな
その影響を最小
限に抑え、内需
を喚起し、国民
の安全・安心の
生活を守るため
景気・雇用対策
に全力で取り組ん
でおります。



わたしは、ブレない。

初入閣の呼び出しを受け総理官邸に入る

旧年中は大変お世話になりまして、厚く御礼申し上げます。
おかげさまで、選挙対策副委員長としてのの大役を務めさせていただいております。
今、百年に一度と言われる世界の金融危機、同時不況は、日本の経済を支えてきた自動車、家電製品などの輸出産業に大きな打撃を与えております。その影響を最小限に抑え、内需を喚起し、国民の安全・安心の生活を守るため、景気・雇用対策に全力で取り組んでおります。

人口減少社会という、日本を取り巻く環境が激変するなか、活力のみなざる元氣な国をつくるため、全国一律でコントロールする中央集権体制、官僚主導から脱却し、地域主権型の国づくりをめざし、昨年三月には超党派で「せんたく」議連を立ち上げました。国と地方で二重行政となつているムダを解消し、最終的には道州制を実現するため、わたしのすべてをかけて臨む覚悟です。
年頭にあたり、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。


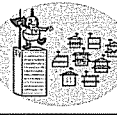

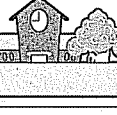
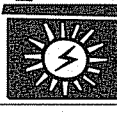



年頭の決意

菅 よし ひ で 義 偉

衆議院議員(自民党二区支部長)

2009年度 予算案 — 主な内容 —

-  介護報酬引き上げや、保育所運営費交付金増など生活の安心を確保
-  地デジ対策を円滑に進めるため、チューナーの無償配布を拡大
-  自給率向上や農地集約化を推進し、内需を喚起
-  厳密な食品調査・試験を行い、食の安全を守る
-  小中学校の非常勤教員を1万4,000人とし、授業数増や少人数指導に対応
-  環境対策として、住宅用太陽光発電の導入に補助金
-  街頭防犯カメラ設置のモデル事業を行い、安全・安心の街づくりへ

「公団住宅居住者を守る議員連盟」

すが事務局長

家賃値上げ
中止!



UR賃貸住宅の 家賃値上げ ストップ!!

昨年11月28日、すが議員が事務局長を務めます「公団住宅居住者を守る議員連盟」は、公団を管理するUR(都市再生機構)が今年4月に予定していた継続家賃の引き上げを中止するよう、国土交通大臣に要請しました。高齢者の方々が多く住まれている公団住宅の家賃の値上げは、政府が取り組んでいる生活防衛のための景気対策に逆行しており、中止するべきだと訴えました。大臣はこれを受けてURに指示し、URは家賃の引き上げを凍結することとしました。

すが議員は、これからも国民の皆様の住宅と居住の安心・安全・安定にむけて全力で取り組みます。

◆すが義偉プロフィール

「世の中を動かしているのは政治だ。人生をかけてみたい」

こんな決意を胸に秘め、菅義偉が政治の道へとびこんだのは26歳のときだった。

昭和23年秋田県に生まれた。地元の高校を卒業後、就職のため上京し、働きながら法政大学で学んだ。サラリーマン生活を送ったのち、政治家を志す。

代議士秘書として経験を積み、「地盤・看板・カバン」なしで、激戦の西区での選挙に挑み、38歳で初当選を果たした。市会の若手エースとして活躍するが、しかし同時に、霞ヶ関を中心とする中央集権体制が、地方の自立を阻んでいる現実に直面し、「地域主権型国家」の実現を目指し、国政への挑戦に踏み出した。

平成8年に衆議院議員に初当選して以来、当選4回を重ね、安倍内閣では総務大臣を務めた。

大臣としては、「NHK改革」「地方分権改革法」「ふるさと納税制度の導入」をはじめ、郵政民営化などにも取り組んだ。年金記録問題では、自らのもとに「第三者委員会」を設置し、新たに14,000人の年金受給権を回復させた。

現在は、自民党選挙対策副委員長を務め、解散・総選挙での勝利に向けて全国を飛び回る。

家族は妻、息子3人で、マンション住まい。好きな食べ物は甘いもの、麺類で、アルコールは苦手。信念を曲げず、意志を貫く「ブレない」政治姿勢には定評がある。

本部事務所 / 〒232-0016 横浜市南区宮元町2-41-1 2F TEL.045-743-5550 FAX.045-743-5296
http://www.sugayoshihide.gr.jp info@sugayoshihide.gr.jp

あなたの声を国政へ!